

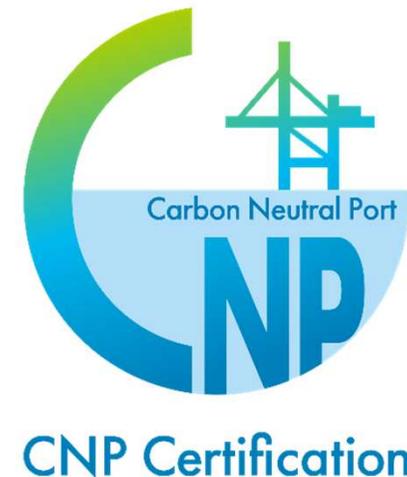
三河港豊橋コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
愛知県	三河港港湾脱炭素化推進計画の作成
	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
	ヤード照明のLED化
	環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入

[ターミナル概要]

三河港豊橋コンテナターミナルは平成10年に神野西ふ頭7号岸壁で供用が開始され、現在は2基のガントリークレーンが稼働しています。日本の中心に位置するという地理的優位性を活かし、韓国との外貿定期航路や中京～京浜フィーダー航路を通じて、世界各国の港湾と結ばれています。

令和6年に三河港港湾脱炭素化推進計画を作成し、インバータ制御方式のガントリークレーンの導入やヤード照明のLED化などの取組を進めています。



認証レベル

Level 1+

(認証日 令和8年3月10日)

CO₂排出量原単位
11.95 kg CO₂ / TEU



三河港港湾脱炭素化推進協議会



インバータ制御方式のガントリークレーンの導入



ヤード照明のLED化